

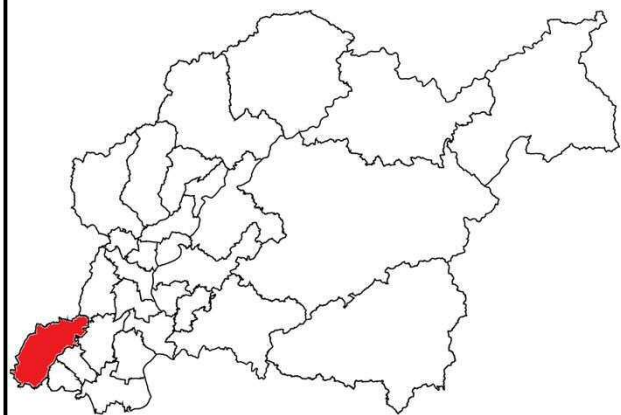
前林地域

自治力見える化カルテ（1 / 2）

地域概要（地域の構造）

基礎データ（平成30年4月1日現在）

【位置図】



【地域特性】

前林地域は豊田市の南西部に位置し、南北に逢妻女川が流れ、ゆるやかな丘陵地には区画された田園が広がる。明治以降から枝下用水や金山揚水により農業が栄えてきたが、高度経済成長期に自動車関連工場が進出し、工業地が形成された。

現在の市の総合計画では「都市・田園共生ゾーン」と位置づけられ、豊かな緑を残しつつ、トヨタ自動車の高岡工場や堤工場をはじめ、様々な物流の拠点の倉庫も立地し、交通網は整備中である。11自治区で構成された前林地域は、各自治区ごとに歴史や文化の継承を尊重した行事やわくわく事業を活用した活動が非常に活発であることも魅力といえる。

面積	18.44 km ²	(2.0%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	1,259 人/km ²	(272.6%)	[市 462 人/km ²]
人口	23,220 人	(5.5%)	[市 424,500 人]
男性	12,839 人	(5.8%)	[市 221,768 人]
女性	10,381 人	(5.1%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	453 人	(2.8%)	[市 16,327 人]
世帯数	9,907 世帯	(5.6%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	40.63 歳	(△2.1歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

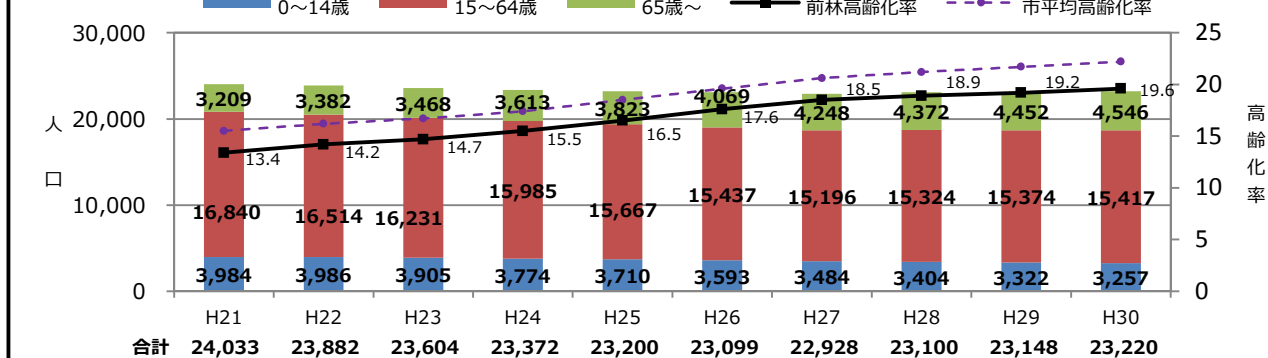
【年齢4区分別人口の推移】

	H25	H30	増減数	増減率
合計	23,200	23,220	20	0.1
0～14歳	3,710	3,257	△ 453	△ 12.2
15～64歳	15,667	15,417	△ 250	△ 1.6
65歳～	3,823	4,546	723	18.9
75歳～(再掲)	1,512	1,974	462	30.6
高齢化率	16.48	19.58	3.10	18.81

【人口動態】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 101	△ 171	172	48	72
自然増減	94	105	105	86	114
社会増減	△ 195	△ 276	67	△ 38	△ 42

【人口推移】



地域自治

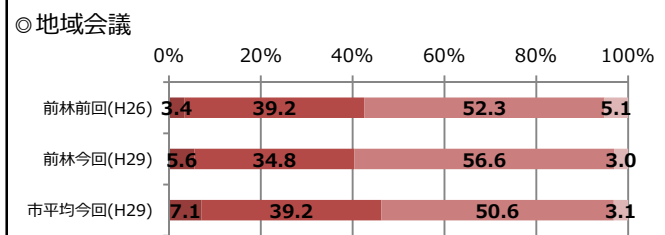
出典：H29地域自治システム評価アンケート

【地域課題】（地域の課題認識が高い順）

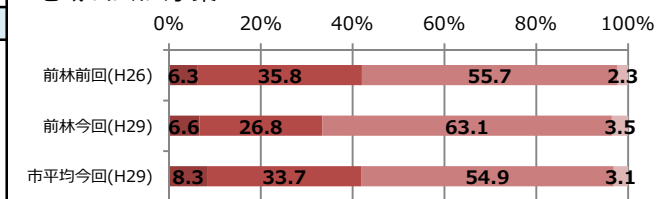
課題・問題点の項目	前林	豊田市	差
公共交通機関の充実	51.0	44.3	6.7
交通安全対策の推進	50.0	53.9	△ 3.9
買い物の不便の解消	49.0	43.8	5.2
生活道路・交通をスムーズにすること	48.5	45.4	3.1
医療の充実	44.9	47.2	△ 2.3
防犯対策の強化	42.4	40.5	1.9
広場、公園などの施設の整備	40.9	39.5	1.4
空き家や耕作放棄地の対策の強化	37.9	32.8	5.1
若年層の定住促進策の拡充	37.8	33.6	4.2
子育ての支援の充実	37.4	38.1	△ 0.7
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	35.9	38.0	△ 2.1
防災対策の充実	35.3	36.8	△ 1.5
豊かな自然環境の保全	34.8	40.3	△ 5.5
鳥獣害対策の強化	34.3	28.9	5.4
近所での働き口の創出	32.3	25.8	6.5
福祉対策の充実	31.8	31.8	0.0
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	31.8	32.0	△ 0.2
農業・農地を保全すること	31.3	26.2	5.1
市街地の活性化と魅力づくりの推進	26.8	31.3	△ 4.5
住民同士の交流の場や機会の拡充	26.8	34.2	△ 7.4
観光によるまちづくりの推進	15.6	18.9	△ 3.3

【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし



◎ 地域の地域予算提案事業



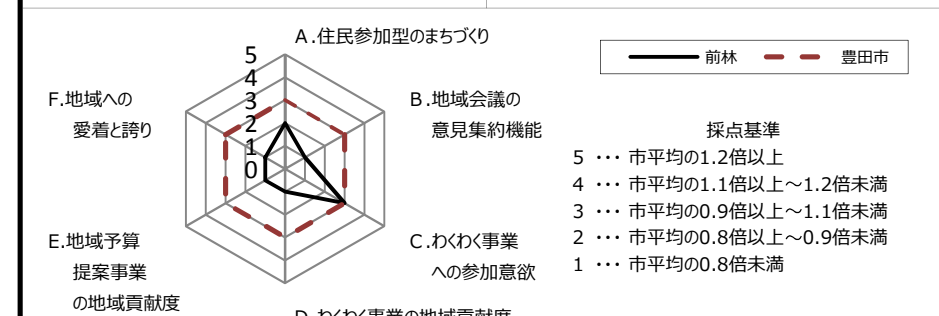
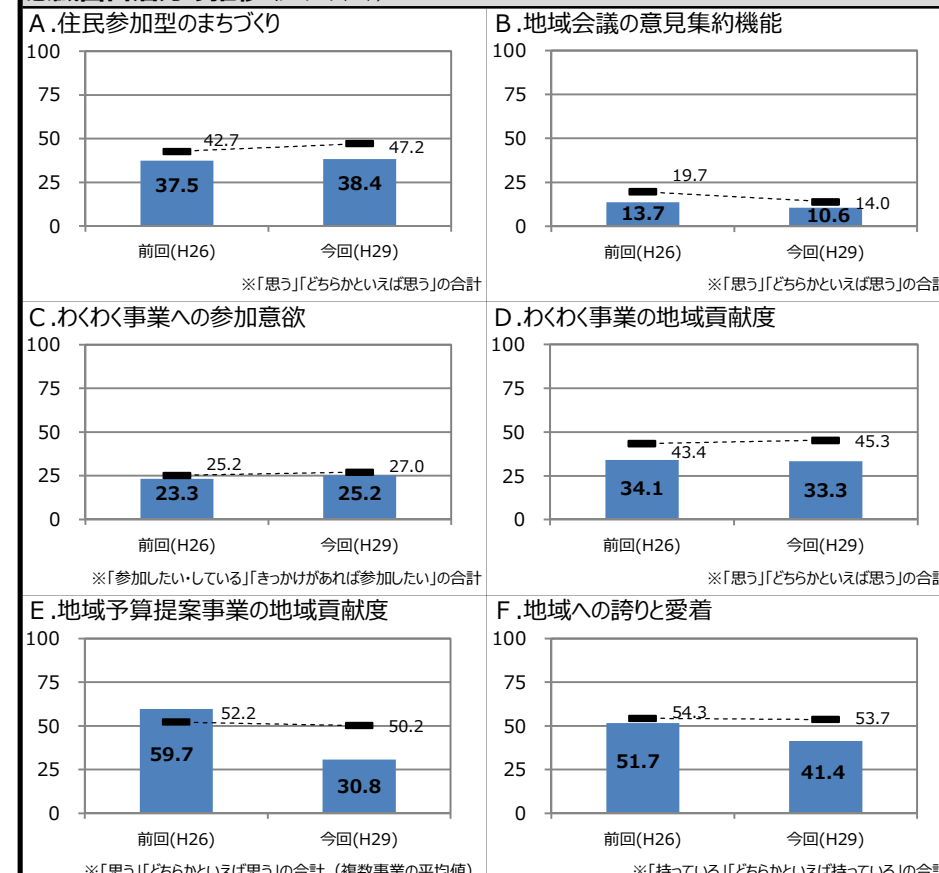
【コメント（地域概要）】

前林地域は地域全体の課題について自治区がしっかりと機能し、連携して取組が行われている。企業の工場や物流倉庫が多いことから交通量も多く、地域住民は交通安全対策、防犯対策、交通渋滞等を課題と感じている。また地域内には商業施設や病院が少ないため、商業施設誘致や公共交通機関の充実を望む声も多い。

意識（アンケートから診る意識面の自治力）

出典：地域自治システム評価アンケート

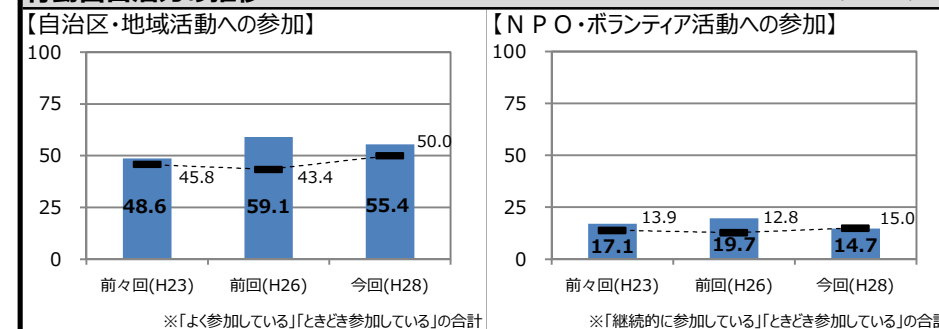
意識面自治力の推移（レーダーチャート）



行動1（アンケートから診る行動面の自治力）

出典：市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント（意識及び行動1）】

前林地域は自治区・地域活動やボランティアへの参加が市平均を上回っているが、わくわく事業の地域貢献度は市平均より低い。わくわく事業は16団体が活動し、実際に活動意欲の高い人が多いものの、わくわく事業自体の認知度が低いことが原因と思われる。一方で地域予算提案事業の地域貢献度が市平均より高いのは、逢妻女川散策路や安全のみどり線等が、地域の多くの方が活用する事業として認識され、一定の効果を挙げていると考えられる。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	12 団体	わくわく事業関連団体	1 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	1 団体	
	スポーツ推進委員	8 名	ヘルスサポートリーダー	12 名	民生委員児童委員	21 名	お元気ですかボランティア	10 名	
健康	高齢者クラブ	11 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	64 名	その他団体	2 団体	
	活動例：【堤びんごろ隊】 地域に住む60歳以上の高齢者に対して体力・脳力・健康意識の向上に向けた活動を行っており、これにより高齢者の医療費の軽減を目指している。会員数は25名（平成30年4月現在）。				福祉 活動例：【前林地区 地域福祉をサポートする会】 シニア世代等の生活に役立つ知識、情報を生活サポートブック（全戸配布）にまとめ発行する。若い世代に生活サポートブックを周知し、身につけてもらう。会員数9人（平成30年4月現在）				
コメント：高岡公園、マレットゴルフ場やさわかスポーツクラブまえばやし等があり、健康づくりに対して活発である。									
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	32 団体	わくわく事業関連団体	5 団体	
	その他団体	団体	－	－	その他団体	団体	－	－	
活動例：【 】				伝統・文化 活動例：【サロン・ド・六鹿】 旧六鹿邸（市指定有形文化財）を活用して地域の生活、文化、芸能の伝承活動を促進する。合わせて六鹿会館を多くの人々に利用するよう呼びかけている。会員数は70名（平成30年4月現在）。					
コメント：前林地域のわくわく事業の中では、伝統・文化に関する活動が最も多く、地域の伝統を大切にす住民も多い。									
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	8 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体	
	その他団体	団体	－	－	自主防犯団体	18 団体	自主防災会	13 団体	
活動例：【ラブ&アース駒場の会】 通勤・通学路に面した道路沿いの遊休地等を活用し、四季を通じて花を植替え、街角プランターを設置している。その他駒場小学校の稲作体験やサツマイモ作り指導等にもボランティアで協力している。会員数は11名（平成30年4月現在）。				安全・安心 活動例：【青色パトロール活動】 地域予算提案事業の一つとして、自治区、自主防災会、地元企業等が協力してパトロール活動を実施している。					
コメント：前林地域内では花壇整備や環境美化等が自治区や自主グループを中心に活発に行われている。									
子どもの健全育成	交流館自主グループ	3 団体	わくわく事業関連団体	1 団体	交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	団体	
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	2 団体	その他団体	団体	－	－	
活動例：【ダンディーシニア】 地域密着のボランティアとして交流館との共催による親子芋掘り、芋煮会を実施している。各自主グループの協力による発表会も実施している。会員数は21名（平成30年4月現在）。				自治振興 活動例：					
コメント：文化団体等でも子どもに継承することを目的にするなど、子どもの健全育成に地域全体で取り組んでいる。									
その他1	【 】				【 】				
	コメント：				コメント：				

【コメント（行動2）】

自治区単位で行われる地域の伝統行事（まつり等）も多く、自主団体の活動としても伝統・文化継承関連のものが非常に多いのが特徴的。地域の歴史を大切に、地元愛を強く感じる地域である。一方で企業の工場勤務等で新しく住民となる人数も多いため、高齢化率が高くなってきている地元住民と生産人口となる若い世代の転入者の交流を深め、前林地域全体の活性化を目指していくことが課題といえる。平成28年3月に竣工した前林交流館は来館者も増え、地域交流の中心となっている。今後は高岡公園のさらなる活用や、安全・安心対策について地域住民からの要望の声が多い。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	4	2	4	5	3	3	5	7	8	5	
③安心・安全な地域づくり	2	1	1								
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	5	11	7	7	6	6	6	8	8	8	
⑤子どもの健全育成	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
⑥地域の特性を生かした産業振興											
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業											
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	1										
事業件数（件）	15	16	14	14	11	11	13	17	19	16	
実績額（千円）	4,079	3,317	4,238	3,781	3,838	3,530	4,876	4,998	4,862	4,203	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動【4地域合同】	防犯対策	44	51	59	50	42	45	42	40	31	48
前林地区周遊散策路等の整備	健康増進		11,287	3,217							
逢妻女川散策路整備（第1期）	健康増進		6,960	6,523	3,975	13,930	9,415				
安全のみどり線設置事業	交通安全				9,243	2,746					
通学路の防犯対策事業	防犯対策						1,999	2,971			
逢妻女川散策路整備事業（第2期）	健康増進						1,999	1,131	11,800	5,845	1,641
金山揚水遺構の保存と活用	文化活動							5,055	5,477	1,081	18,191
実績額（千円）		44	18,298	9,799	13,268	16,718	13,458	9,199	17,317	6,957	19,880
※H30は当初予算額											

【コメント（行動3）】

わくわく事業については、一般への認知度は低い一方で自主グループ等様々な活動をしている団体等の中では認知されてきており、近年では新規団体が増加傾向にある。立ち上げや運営が軌道にのるまでにわくわく事業を活用し、その後自立できるよう支援をしていくことが今後行政と自治区で取組む課題といえる。地域予算提案事業では平成22年から散策路の整備等が行われ、地域住民にも広く認識されている。今後はわくわく事業や地域予算提案事業を提言する地域会議の役割をPRし、より地域ぐるみで協力していくことが必要。

総評

前林地域は市の都市計画では「都市・田園共生ゾーン」として位置づけられており、11の自治区にはそれぞれ地域の伝統行事や地域資源が多く残され、保存する活動が自治区関連団体や自主団体を中心にそれぞれ活発に行われている。特に市の指定文化財や県の有形民俗文化財、金山揚水遺構という近代化遺産や鎌倉街道も残されており、これらを守る活動も各種団体や地域予算提案事業で取り扱われている。しかし、これらの保存活動を継承していく新たな地域活動の担い手の確保が難しいのが現状であるため、交流館や地域行事等の中で多世代交流の場を広く展開し、地域活動のPR及び担い手となる人材確保を行っていく必要がある。住民からは公共交通の利便性が低いことと商業施設が近隣にないことの不便さに対する意見も多く聞かれるため、行政と共に解決していく大きな課題といえる。堤小学校区と駒場小学校区それぞれの地域課題を共有し、美しい田園と建造物が共生し逢妻女川で繋がる大きな前林地域として、各種団体、自治区、コミュニティ会議、地域会議、行政、地域住民が連携して地域活性化に取り組んでいくことが重要。